

「人手不足の実態と物流システムに関する調査 2019」

企業の87%が人手不足を実感、すでに約6割の企業の業務に影響

～業務への影響トップは「技術・ノウハウの伝承が困難」～

さまざまな産業で、デジタル化への取り組みが活発化しています。物流分野においてはインターネット通販(EC)の市場拡大、グローバル化、多品種少量化が進んでおり、産業競争力強化や付加価値創出の手段として、AI・IoTの活用が広がりつつあります。一方で、国内においては労働人口の減少による人手不足が深刻な経営課題になっています。IT活用による人手不足の解消・省力化や、物流データを活用等による生産性の向上が期待されています。

そこで、富士電機の物流ソリューション事業では、物流業務に関連する調査として、製造業・卸・小売業を対象とした企業における人手不足、ITの活用状況及び物流システムの活用状況に関する調査を実施しました。

[調査概要]

- ・ 対象エリア : 全国
- ・ 調査対象者 : 製造業、卸・小売業従事者(従業員数100名以上)
(製造、調達・購買、生産管理・品質管理、情報システム、経営企画、事業企画、物流・倉庫従事者等)
- ・ 有効回答数 : 300人
- ・ 調査方法 : インターネット調査
- ・ 調査期間 : 2019年8月30日～9月2日

◆調査結果(抜粋)

人材不足の実態について

- ・「人手が不足している」とする回答は全体の87.3%(図1)。そのうち約6割が、人材不足によりすでに業務に影響があると回答(図2)。業務における具体的な影響としては、「技術・ノウハウの伝承が困難」(53.3%)、「従業員の時間外労働の増加や休暇取得の減少」(47.1%)、「業務・サービスの質の低下」(43.1%)などが発生。
- ・取り組んで実際に効果があったものでは、1位が「IT導入による省力・効率化」、2位に「業務の外部委託(アウトソーシング)」、3位に「既存設備の更新による省力・効率化」「ロボット・自動機等の活用による自動化・省力化」があげられる。

IT活用実態

- ・ITを利用した取り組みを実施しているとする回答は、全体の52.3%。現在、活用しているITでは、「在庫管理システム」「生産管理システム」「販売管理システム」が上位3位(図3)。IoT、RPAやブロックチェーン等の検討も進んでいる。

倉庫/在庫管理システムについて

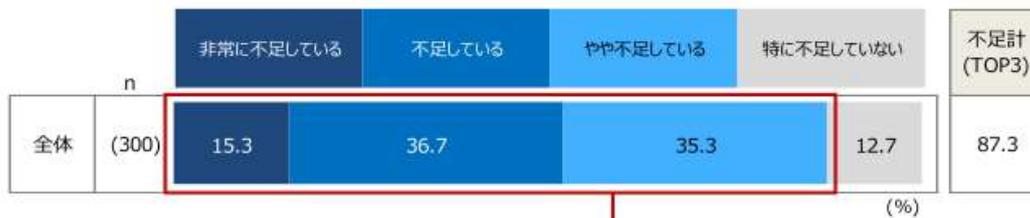
- ・ITを利用・利用検討しているとする回答のうち、倉庫/在庫管理システムを検討した割合は、全体の80.5%。
- ・倉庫/在庫管理システムの導入効果をみると、全体の59.1%が「導入効果が感じられる」と回答。

DAS/DPS(デジタルピッキングシステム)について

- ・ITを利用・利用検討しているとする回答のうち、DAS/DPSを検討した割合は、全体の31.3%。
- ・DAS/DPSの導入効果をみると、全体の57.1%が「導入効果が感じられる」と回答。

「人手不足」の状況と影響

【図1：Q1.人手不足の状況(n=300)】



【図2：Q2.人手不足の影響度(n=262)】



図3. IT の活用状況

	n	すでに利用しているIT	今後検討しているIT
在庫管理システム	(246)	45.9	32.1
生産管理システム	(246)	43.1	30.9
販売管理システム	(246)	40.2	29.3
クラウドサービス (IaaS,PaaS,SaaS)	(246)	36.2	32.9
ERP(Enterprise Resource Planning)	(246)	29.3	25.6
EDI(Electronic Data Interchange)	(246)	26.8	21.5
WMS(倉庫管理システム)	(246)	23.2	26.4
IoT(Internet of Things)	(246)	20.3	39.8
RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)	(246)	20.3	30.9
CRM(Customer Relationship Management)	(246)	20.3	28.0
POSシステム	(246)	17.1	17.9
ビッグデータ	(246)	16.7	36.6
AI(人工知能)	(246)	12.6	45.5
DAS/DPS(デジタルピッキングシステム)	(246)	11.4	19.9
TMS(輸配送管理システム)	(246)	10.6	22.0
CTI(Computer Telephony Integration)	(246)	10.6	17.5
ブロックチェーン	(246)	5.7	22.0

◆人手不足の実態と物流システムに関する調査 2019(概要版)のご案内



富士電機では物流ソリューションに関連する調査・レポートを不定期に実施し、お客様に役立つ情報を発信しています。今回の調査・レポート「人手不足の実態と物流システムに関する調査 2019」について、概要版資料をご希望のお客様には別途メールで PDF データをご案内しております。詳しくは[公式 HP](#)よりお問い合わせください。

◆物流センターの生産性向上・業務効率化をご検討中のお客様へ

物流センター・倉庫の運営・管理に課題はありませんか？

- ・エクセルによる在庫管理をやめ、紙への記録・集計作業をなくしたい。
- ・誤出荷率を減らし、出荷品質を向上させたい。・業務が属人化しない仕組みを作りたい。
- ・既設の倉庫管理システム(WMS)を改造せずに、業務にあうシステムを導入したい。
- ・フリーロケーション化を可能にし、倉庫スペースを柔軟に有効活用したい。



生産性を最大35%向上可能な物流ソリューション「F-WES」のご案内

F-WESを導入することで、複数拠点の物流データをリアルタイムで確認できるようになります。在庫状況だけではなく、物流センター内での作業状況やマテハン機器の稼働状況等にも対応可能です。詳しくは[公式HP](#)をご覧ください。

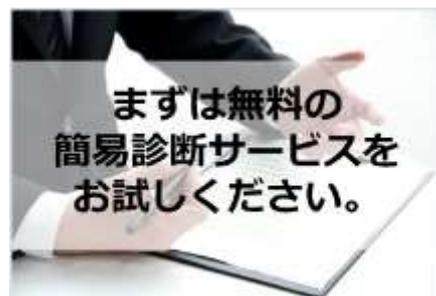
[富士電機の物流センターソリューション]



[倉庫運用管理システム F-WES](#)



[デジタル仕分けシステム\(DAS/DPS\)](#)



[物流センター・倉庫 無料簡易診断サービス](#)

[物流現場の改善事例]



[物流センターの見える化による業務改善](#)



[出荷・仕分け作業\(ピッキング\)の業務改善](#)



[タブレット・RFIDを活用した物流業務改善事例](#)

※画像をクリックすると、富士電機の物流ソリューション公式 Web サイトへアクセスできます。